

学生の図書館活用方法



図書館初心者の一歩目

社会福祉学科　４年　H・N

皆さんは本を見る時、どの様な動機で探すだろうか。課題で使う本を手早く見つけたい。資格の勉強の為にわかりやすいものを探したい。感情が湧き立つものを読みたい。自分の成長につながるものを見つけたい。誰かとの話題になるものが無いか…。色々あると思う。

時に衝撃的に私たちに色々なことを教えてくれるが、本を探す事は意外に面倒な作業である。

何か目的を持って、本を探す場合は良い。授業や教科書で取り上げられた単語を図書館のホームページの蔵書検索に打ち込めばでてくる。

問題は、特に目的もなく、面白そうな本を見つける時である。

膨大な本の中から自分の感性に合った表題のものを探し、書いている文章を読んでみるまでわからない。それが本を読む上での最大の障害だ。本が面白いかそうで無いか以前に、自分の興味を突き止められない。

そんな時、図書館に入ってすぐ、エレベーターの脇にある小さな書棚の本を見てほしい。*

ここに集められた本は、司書さんが各学科の学生に向けて選んだ本だ。普段なんとなく浮かんでくる悩みに対して考えるヒントを与えてくれるし、自分の興味を専門分野に繋げることが出来る。

「レポートを書く」という作業をする時に、情報を詰め込む以外に書けることが増えるというメリットもある。レポートを作る上で大変な事は、「イメージ出来ない専門的な情報を理解する事」、「自分の考えをまとめる事」にある。

本をよみ、事例に触れて感じた事、誰かの考えに対して自分だったらこうしたいという思いは「自分の考え」と「わからない事」を形にするきっかけになり、それを解き明かしていく楽しさにつながり、レポートを作りやすくなると思われる。

レポートを書くために本を読むときは、スマホのメモに表題と気になる内容が書かれたページ数と感想を一言メモするといい。レポートを作る時に探しやすくなるし、楽に読み返すことが出来る。

「興味をそそる本が見つかるかもしれない書棚」。暇な時、図書館に足を向けるきっかけになるかもしれない。無かったら、更新された時にまたのぞけばいい。

執筆者本人の希望により、イニシャル表記で掲載しています

＊図書館からのお知らせ
令和５年４月から、このコーナーは図書館１階左奥(旧指定図書コーナー)へ移動しました。